

# 2021年 子ども・若者エンパワメントセミナー 3.11を振り返って ～あの日の話、明日の話～



本日は当セミナーにご来場いただきまして、どうもありがとうございます。  
今年には法人設立10周年にあたるため、「10年前を振り返りながら若者と一緒に未来を考える」ことを趣旨として『東日本大震災』をテーマにとりあげました。  
5月に高校生・大学生による実行委員会を立ち上げ、石井光太氏の力を借りて釜石高校の若者や地元の大人の方々に取材と意見交換を重ねてきました。釜石の皆様どうもありがとうございました。若者たちとともに過去に学び、未来を考える時間にしていただければ幸いです。

公益財団法人よこはまユース 事業企画課長 守田 洋

何がこのイベントを実現させたのでしょうか。  
よこはまユースの予算でも、学生の高い意思でもありません。  
大地震によって失われた大勢の命、生き延びた人の悲しみや後悔、そこに手を差し伸べようとした人々の善意...。そうしたものが、震災から十年経った今、イベントを可能にしているのです。  
そのことに想像力を膨らまし、今あなたがすべきことを考えてください。

講師 石井 光太

公益財団法人よこはまユースは今年で10周年となり、初めて大学生、高校生が主体となって運営させていただきました。コロナ禍で活動が制限される中、オンラインを活用し、現地のメンバーと連絡を取り合い半年間、準備を進めてきました。このセミナーを通して、震災について知識を深めていただきたいと思います。

実行委員長 小林 美月

動画の内容を考えて、その構想を考えて素材を集めて編集する。  
それだけで沢山悩み考え、相談し合いながらやってきました。なので、私たちが伝えたい思いの全てが詰まった動画を作ることができました。  
これまで手伝ってくださった皆様、ありがとうございました。

釜石高等学校 三浦 滉平

コロナ禍ということもあり、オンラインでの活動が多かったように感じます。画面を通しての会議はとても難しく、対面だったら伝えられることも伝わらないことがあり、話が進まないこともありましたが、多くの方が協力してくださったおかげでイベントを創り上げることができました。

桐蔭学園高等学校 城間 南美



被災者の声を聞いてみよう！  
釜石高校、夢団の方々に答えていただきました！

## 質問1

日常的に取り組むべき防災対策は何ですか？

- ①家具の耐震をしているか確認する。
- ②非常食の補充、飲料(水)・日持ちが良い食べ物の常備
- ③懐中電灯、ガスコンロ、ラジオなど
- 定期的に点くかどうか確認すると良いと思います！
- ④避難する際に持っていきたいもの等のリスト化
- ⑤学校や職場などの近くの避難所を覚えておく。

自分の住んでいる地域の周辺にある避難所、避難経路も確認すると良いです！

- ⑥緊急連絡先をメモして常に持ち歩く。
- ⑦避難する時の持ち物の確認(賞味期限など)



## 質問2

家族と話し合っておいた方が良いことは何ですか？

- ①安否確認の方法を確認

→実際確認が取れなくて不安になりました...

- ②集合場所を決める。

- ③「この場所にいたらここに避難する！」ということを事前に決めておく。  
→家ならここ、学校や職場ならここ など

\*もし避難する際、家族が近くにいなかったら

↓  
・とにかく避難場所に逃げる！  
実際に災害が起きた時は、家族全員バラバラだったため、まず自分自身が近くの安全な場所に避難しておくことが大事だと思います。  
・家族を気にして戻らないこと。  
当時は小さかったため、何を話していたかはよく覚えていませんが、震災後に「気にしないで逃げろ」と言われました。

## 質問3

防災に必要なものは何ですか？  
被災時にあった方が良かったと思うものも教えてください。

- ①アルミホイル  
→体に巻いて温めたり、食べ物を温めたりするのに便利です！
- ②ろうそくとライター  
→懐中電灯の電池が無くなった日の夜は、ろうそくで過ごしたこともありました...
- ③ビニール袋  
→ゴミ用にもトイレ用にも使えます。
- ④食べ物、毛布  
→私は東日本大震災の時、保育園の皆と病院で一夜を過ごしました。私は不安で仕方がなかったのですが、病院の皆さんがおせんべいと毛布を準備してくれたおかげで皆で寝ることができました。
- ⑤トイレトーパー、ティッシュ

避難する時に持っていきたいものをリスト化してみよう！ ↓